



# さわやか

平成 28年 6月 20日  
 特定非営利活動法人  
 青葉台さわやかネットワーク  
 TEL 0436 (62) 8215  
 FAX 0436 (62) 8205  
 E-mail: asn\_3247\_ichihara\_299\_0117@ybb.ne.jp  
 発行責任者 西原 清隆

## 第18回定例総会を終え、新年度の方針について

**理事長 西原 清隆**

平成28年5月28日(土)「第18回ASN定期総会」を青葉台自治会館で開催しました。正会員70名中、26名の出席、委任状提出者22名で総会は成立しました。

まず、平成27年度の事業報告および活動会計報告、監査報告を行い、特に異議なく承認されました。特に、認定NPO寄付金の使途について、これまで高齢者の福祉関連に定め、すべて基金に積み立てるとしてきましたが、この方針を改め次の通り運用することで承認をいただきました。



- ・市原市新地域支援事業に運用する。
- ・現在、支援中の行事、活動団体の支援を検討する。
- ・前期に相当する行事、活動団体への支援を検討する。

また、役員1名、高柴安子氏(青葉台1丁目、現・学童保育部門長)を追加選任しました。平成28年度放課後児童健全育成事業では入所児童が増え、児童クラブも2教室増加、合わせて職員の増加等、業務の対応や責任を充実するものです。

次に、平成28・29年度の事業計画では重点施策として、①介護部門の改善、②新地域支援事業への対応、③地域交流会の充実を掲げて取り組むこととしました。(なお、29年分の事業計画については、法律の呼称変更により、定款の事業目的「第5条⑩福祉有償運送事業(旧称;一般乗用旅客自動車運送業)を改訂するために必要な記載事項です」)

総会終了後、簡単な食事を頂きながら懇談をさせていただきました。ご出席くださいました正会員の皆様、有難うございました。

## 初心忘るべからず

**相談役 5丁目 山田 治男**

私達は急速な少子・高齢化の到来を目前にして、平成6年2月5日、さわやか福祉センター(現、さわやか福祉財団)の堀田力さんが提唱されました「**お互いに心豊かに暮らす新しいふれあい社会**」を構築すべく、全国6000カ所の団体設立運動に参加しました。

この趣旨に賛同する各種団体役員(青葉台町会、老人会、民生児童委員、社協)の方々との協議を重ねて、平成6年10月1日、住民互助任意団体「青葉台さわやかネットワーク」を発足させました。そして「知恵をだそう」「汗をだそう」「お金をだそう(応分の負担)」を合言葉に、幾多の難関を一つ一つ解決してきました。



この活動には常に堀田力さんからの力強いご指導とご鞭撻を頂きました。「この活動は必ず皆から感謝され、社会貢献ができ、花開く」と信じて日夜奔走・努力しました。その甲斐があり、後にNPO法人取得、そして介護保険制度による訪問介護事業参入、と徐々に地域住民からの認知・信頼度も高くなり、活動も種々活発に拡大してきました。

お蔭さまで、現在は皆様にもご承知の通り、会員数800名を超えて、多くの方から感謝の声を聞くまでになりました。しかし、原点たる助け合いの精神を肝に銘じ、当初に活動を始めました①地域学童の登下校の見守り活動、②高齢者・障がい者の移送や家事援助活動の初心を忘れずに完遂したい。

そして今後も行政、自治会、諸社会貢献団体ともお互いに手を携え、その機能を十分に発揮して自助・共助・公助の実を揚げ「新しいふれあい社会の創造」に一層の努力が必要です。どうかこれからも**自分は何を協力できるのかを自問自答し、この活動が益々発展させるために初心を忘れず**一段のご理解とご協力を切に祈念する次第です。

## 生涯現役で助け合い活動をやってみませんか

—さわやかネットワークはその舞台を用意しています—

**理副理事長 1丁目 高柴正義**

さわやかネットワークの助け合い活動は多岐にわたっております。創立20周年を経て会員800人を超えるマンモス助け合い活動団体に成長しました。

ご存知のように、我々の活動は協力者と利用者のバランスの上で成り立つ助け合い活動です。このバランスが崩れると円滑に機能しません。ここ数年の間、世の中の仕組みが変化する中で、協力者が減り、利用者が増える傾向は続いております。時間に余裕のある元気な協力者候補はたくさんおられます。時期が早いも遅いもありません。



是非多くの皆さまに協力者になっていただき、バランスを取り、我々の目指す「心豊かに暮らせるまちづくり」に参加してみませんか。

- さわやかネットワークの現在の協力者の年齢構成とその役割は
- ～50代 希望の星です。貴重な存在です。参加大歓迎です。
  - 60代 ものすごく期待されている年代です。青年部です。
  - 70代 中心になって活動をすすめています。
  - 80代 いろいろ指導していただき、時に実務に参加されています。
  - 90代 助け合い活動を正面から支えてくれています。

こんな年齢構成と役割で活動を進めています。さわやかネットワークには生涯現役で助け合い活動ができる舞台が用意されております。草刈り庭木選定の作業の好きな方、できる方、体の具合の悪い人の家事援助をやっていただけの方、訪問介護のヘルパーさん、一人で移動の難しい方の移送のサービスの運転をやっていただけの方、共働きのご家庭の学童の保育のお手伝いをやっていただけの方、等々いろいろな場面での困りごとのお手伝いをしている方が不足しています。積極的に参加して助け合い活動を楽しんでみませんか。そしてご自身の健康寿命をもっともっと伸ばし、地域の活性化と心豊かな生活をエンジョイしましょう。お待ちしております。

## 活躍する協力会員の紹介 (9)

**理事 4丁目 黒川 充**

### 介護部門からのメッセージ

平成14年9月に介護部門を設け介護保険利用者へのサービス提供を開始し、13年以上が経過しました。その間、介護保険認定者の増加に伴い「青葉台さわやかネットワーク」のサービス提供も大きく増大してきています。最近では、「ヘルパーさん不足」という課題を抱えながらも年間延サービス提供時間が1万時間を突破し、延利用者数は900人を超えるまでになっています。この介護部門を約15名のヘルパーさんが日夜奮闘しながら支えているのです。





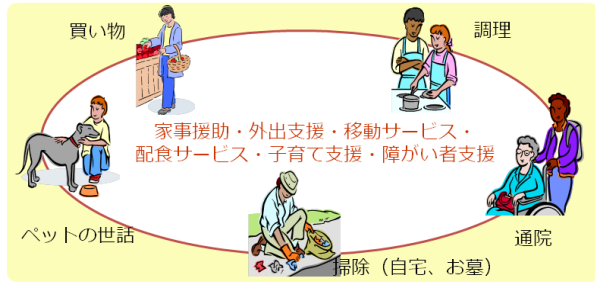
国の方針に基づいて、今年から来年にかけ介護保険が大きく変わろうとしています。おおよそ、以下の2点に注目して説明いたします。

① **介護予防・日常生活支援総合事業がスタートします。(市原市は平成29年4月から)**

介護保険の厳しい財政事情により、要介護度の低い要支援者向けサービスのうち、訪問介護と通所介護が介護保険から外されて市町村の事業に移管されます。市町村のアイデアにより「栄養指導」「筋力トレーニング」「閉じこもり防止」など様々なメニューが期待できる面もありますが、介護費用の抑制で「サービス回数」や「質」に影響が出てくる懸念もありです。

② **介護保険サービスから「調理」「買い物」を除外する検討がなされています。**  
要介護度1・2の軽度者向けサービスのうち「調理」「買い物」を介護保険から除外する検討が厚生労働省で検討されています。「民間の配食事業もあるのに、介護保険で賄うのは疑問」「家政婦代わりに安易に利用されている」などの批判への対応の様です。

青葉台さわやかネットワークの取り組みとして、介護保険サービスを受けられなくなる方を有償サービス等で支援すべく、内部体制の見直しや拡充を検討して行きます。



## 活躍する協力会員の紹介(10)

### ふれあい塾コーディネーター 3丁目 中谷 勝敏

#### 青葉台でのボランティア活動に参加して

現在、お蔭さまで元気に色々な活動に携わらせて頂き感謝しています。そもそも私がボランティア活動を始めようと思ったのは、日本の高度成長期に会社に入り、夢中で仕事をする中、自分達が生産する物が確実に世の中に貢献していると実感し、やりがいを感じていました。しかし、低成長時代に入ると目先の損得に左右されることもあり、60歳退職後は「何か、自身でも納得し、別の形で社会に役立つようなことをしたい」との思いで、ボランティアをさせて頂くようになりました。きっかけを作ってくれた経緯は省きますが、少し現在の活動を紹介します。



- ① 「交通安全推進隊」子ども達の登校時、毎朝旗を振っています。保護者の方々の宝である子ども達の安全を守る重要な活動です。「毎日大変でしょう」と良く声を掛けられますが、全く苦には感じません。子ども達の顔、声、表情、また成長を感じる時に、エネルギーをもらう方が余程大きな力になります。
- ② 「ふれあい塾」青葉台小学校の放課後、10種類もの塾を年間84回、地域の方々と一緒にやっています。子ども達が楽しみにしてくれることが、何よりの励みになります。尚、この活動は全国的に見ても素晴らしい活動と思っています。
- ③ 「ふれあいルーム」地域の方々と青小の子ども達が触れ合う楽しい時間です。皆さんも勇気を持ってぜひお出で下さい。(毎週水曜日9時～11時30分・青小ふれあいルーム)
- ④ 「青小フラワー会」毎月第2月曜日9時～11時。小学校の花壇、畑、ビオトープ、及び環境を整える活動です。熱意を持ったリーダーの元、約30名が活動に参加しています。
- ⑤ 「青葉大学」毎月第2土曜日、自治会館で「雑学講座」として開催されています。その運営委員として約10年携わっています。青葉大学は24年目を迎えています。青葉台自治会館をソフト面で充実し、市原市民憲章を具現化しようとする崇高な考えで行われています。全国的に見ても素晴らしい、青葉台の誇れる活動の一つだと思います。
- ⑥ 「青葉台スロージョギング愛好会」毎週日曜日8時～9時、青葉台小学校校庭で走ったり、歩いたりしています(会員35名・平均年齢69歳)。みなさん「出来るだけ健康年齢を維持したい」と云う方々の集まりです。最高齢は88歳の方で椎の木台から欠かさず来られています。互いに刺激し合い、より健康的な人生を目指しています。

以上のような項目が、私が携わっている活動です。色々忙しい面もありますが、全てを納得して「何かしら地域に、少しは役に立っているのではないか」と思い込んでやらせて頂いています。人の世は『信頼』が全ての基本だと思います。これらの活動も、その積み重ねが、地道ながら継続していきたいと思えます。

最後に、青葉台は素晴らしい人材が大勢おられます。ぜひ多くの方々が色々な活動に関与され、さらに『夢と生きがいのある素晴らしい青葉台』を目指しましょう。

## 寄付金ご支援者のご紹介

青葉台さわやかネットワークは、地元の商店、医院、企業の皆さんからもご寄付頂いております。誠にありがとうございます。この場をお借りして、感謝を申し上げます。

### 青葉台地区

#### 高橋商店 様

地域を支えるお店、手芸の専門店

電話:0436-62-1001



#### 三興クリーニング 様

地域を支えるお店

電話:0436-61-3717



## 使わないままのサービス利用券は ございませんか

—冬眠状態の利用券は買い戻します。—

### 副理事長 1丁目 高柴正義

さわやかネットワークの有償サービスの謝礼は利用券あるいは現金でいただいております。サービス利用券は、直接現金で支払うよりも簡便で、サービスの履歴も確認出来るということで、利用者、協力者の評判もよく発行以来、途絶えることなく発行され、その総額は、NPO法人として発足した平成12年から今年3月末までの16年間で約390.0万円にのぼります。利用者、協力者の間で、これだけの感謝の気持ちの交換があったこととなります。利用券は主に移送サービス、家事援助の謝礼として利用されてまいりました。感謝の気持ちのしるしです。



そのサービス利用券の残高が年々増えてまいりました。それは冬眠状態の利用券が増えてきたということを示しています。その額は今年の3月末で約140万円にのぼります。この額は適正残高(利用料の2カ月分として)の約2倍になります。そこをお願いがあります。利用する当たりのない利用券については買い戻しをしますので事務所までご持参下さい。利用券は無駄なく使いましょう。また、利用券の有効期限はございません。

## 新入会員のご紹介…よろしくお願ひします

総計800名超になりました。(敬称略、順不同、平成28年5月末現在) 28年2月以降の新入会員

- (1丁目) 岡田美智子、(2丁目) 岡本 安夫、山本 圭子、  
(3丁目) 森 眞一、田中 敏子、朱家 清之、竜野 ミツ、綾木 功、  
(4丁目) 栗山 陽子、  
(5丁目) 永井 マサ、(6丁目) 岡田 道恵、山口 久美子、  
(7丁目) 吉田 洋子、藤谷 比呂、  
(姉崎) 猪狩 幸弘、中川 博之、菊地 春枝、落合 節子、落合 辰雄、  
矢島 典代、相川 涼子、石井 京子、江口 洋海、利波 テルコ、  
(泉台) 上野 知子、山本昭弘  
(桜台) 山本 昭弘、永井 直俊、武田 京子、  
福原 満恵、  
(椎津) 吉井 チズ子、須田 昌子、田中 いづみ、  
(椎の木台) 角村 純子、栗田 良子、  
(袖ヶ浦) 柿田 静香、(大稲) 吉田 文江、  
(白 塚) 庄司秀樹、(迎田) 吉川 清、



ASN事務所の草花(アマリリス)6月上旬

編集後記 : 梅雨の季節です。草花や野菜にとって、この季節は成長の真っ盛りです。身近に自然の美しさがいっぱい。地域の花壇、公園にも手入れの届いた草花があります。地域のために、少しでも行動しましょう。(本名幸作)